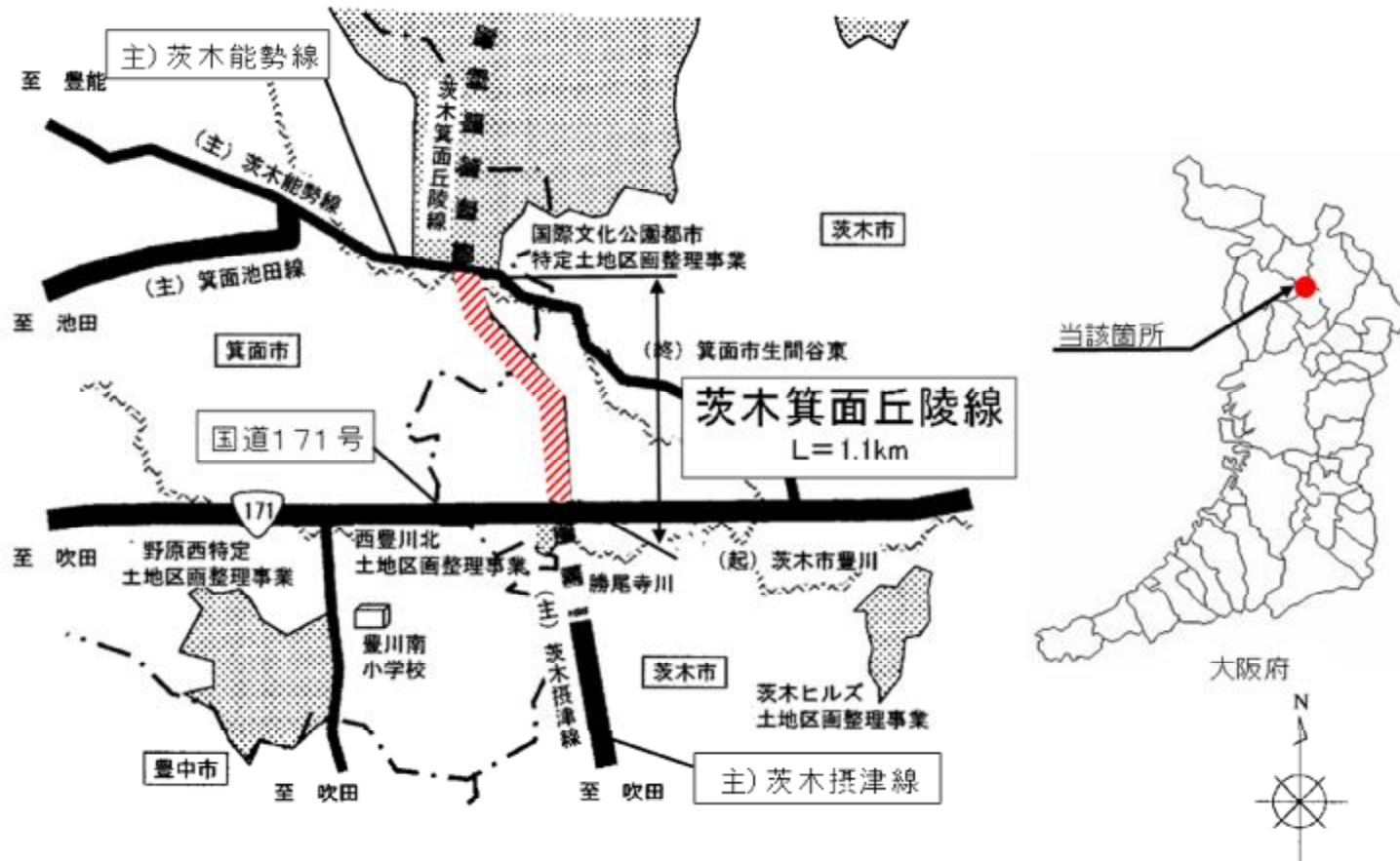


事後評価点検表

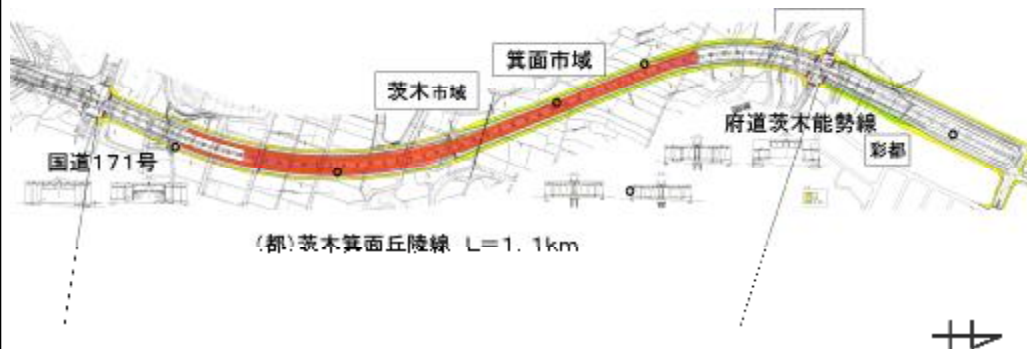
事業名	都市計画道路 茨木箕面丘陵線整備事業
担当部署	都市整備部 交通道路室 道路整備課 街路建設グループ(連絡先 06-6944-9280)
事業箇所	茨木市清水1丁目、宿久庄5丁目～箕面市栗生間谷東2丁目 地内
内容	都市基盤整備公団(現・独立行政法人都市再生機構)が基盤整備を進めている彩都(国際文化公園都市)と国道171号や大阪中央環状線などを介して千里新都心や大阪市内を結節し、彩都の交通動脈としての機能を担うとともに、第2名神自動車道へのアクセス機能も担う。 延長 1.1km 幅員 35m～45m 道路区分 第4種第1級 4車線道路
関連事業とその現状	国際文化公園都市特定土地区画整理事業 第2名神自動車道
社会経済情勢の変化	【整備路線の交通量】 (都) 茨木箕面丘陵線 交通量: 約 9,000 台/日 (ピーク時間交通量 627 台/h) 【交通量の変化】 府道茨木能勢線 最終評価時 11,291 台/日 (H11 センサス) 完成時 7,023 台/日 (H22 センサス) 【混雑度の変化】 府道茨木能勢線 最終評価時 1.10 (H11 センサス) 完成時 0.90 (H22 センサス)
事業実施による自然環境の変化	本路線の整備による、大気質、騒音、振動等の影響は微小である。なお、主要交差点については、立体交差処理する計画であることから、信号交差処理に比べ、旅行速度の向上が図れ、大気質への負荷物質の排出量の抑制に寄与するものと考えられる。 また、本路線の整備に伴う農地の減少による環境への影響も若干考えられるが、連続植樹帯の設置等により、緑の回復に努める。
最終評価時の意見 具申と府の対応	【最終評価時の意見】 必要性が認められ、事業進捗上特に支障がないと考えられるため、「事業継続」と判断する。なお、本事業については、審議過程において、今後、府において留意して頂きたいいくつかの重要な指摘がなされたので、その内容を付記しておく。 ・本事業については、予想交通量等が国際文化公園都市の建設と密接に関係していることから、当面は暫定2車線の完成に向けて事業を進めるとともに、最終の完成については、同都市の成熟度など、関連事業と整合のとれた対応を図っていくこと。 ・沿道の良好な環境を確保するため、沿道開発の規制・誘導について可能な限り配慮を行うこと 【府の対応】 茨木箕面丘陵線については、「事業継続」とする。なお、委員会の審議内容を踏まえ、以下の点に留意していく。 ・当面は暫定2車線の完成に向けて事業を進めるとともに、最終の完成については、国際文化公園都市の成熟度や関連事業との整合を図りながら進める。 ・また、良好な沿道環境を確保するため、沿道開発の規制・誘導についても、関係市と協議・調整しながら可能な限り配慮する。

	【最終評価時点 H13】	【完了時点 H18】	【分析】
事業費	約 110 億円	約 135 億円	立体交差・副道の追加により、工事費が約 25 億円の増
①事業期間 ②採択年度 ③着工年度 ④完成年度	① 14年 ②平成 4年 ③平成 6年 ④平成 19年	① 13年 ②平成 4年 ③平成 6年 ④平成 18年	予定より 1年早く完成
定量的効果 (費用便益分析等)	【評価項目】 ・走行時間短縮便益 ・走行費用減少便益 ・交通事故減少便益 【分析結果】 ・B/C=3.05 【算出方法】 街路事業における費用便益分析マニュアル(案)(建設省都市局街路課作成)により算出 【受益者】 道路利用者、府民など	【評価項目】 ・走行時間短縮便益 ・走行費用減少便益 ・交通事故減少便益 【分析結果】 ・B/C=2.35 【算出方法】 街路事業における費用便益分析マニュアル(案)(建設省都市局街路課作成)により算出 【受益者】 道路利用者、府民など	工事費の増により B/C が下がった。
定性的効果	【効果項目】 ・ライフラインの共同溝化により、管理点検が確実となり、道路構造の保全機能の向上につながる。 ・彩都へのアクセス機能の向上を図ることにより、彩都の立地魅力の向上につながる。 【受益者】 地域住民、道路利用者、就労者、彩都居住者	【効果項目】 ・同左 【受益者】 ・同左	所期の目的を達している。
その他特記事項	なし		
評価結果	平成18年度に供用を開始し、彩都(国際文化公園都市)と国道171号や大阪中央環状線などを介して千里新都心や大阪市内とのアクセスが向上した。 今年度実施した本路線の交通量調査によると約9,000台/日(ピーク時間交通量627台/h)であり、茨木能勢線の混雑度も緩和していることから、彩都へのアクセス機能の向上に寄与している。 また、自然環境への配慮については、街路樹等の設置により、緑の回復に努めた。		
今後の同種事業に対する改善措置等	なし		

事業箇所図



平面図



断面図

